



才能教育研究会も出演



旭町小2年1組の発表と旭町中吹奏楽部の演奏



旭町小学校の2年生児童は「最初は緊張したけど、だんだんパワーが上がってきた」と振り返り、訪れた人からは「素晴らしかった。来年もぜひ開催してほしい」と感動の声が聞かれました。

地域の学校が核となり住民と連携しながら「安心・安全・快適」な地域づくりを進めるための第一歩として初めて企画され、準備が進められた音楽祭に、旭町小学校の鏡味洋子校長は「子どもにとって未来を明るくする一生の宝物になると思う」と語っていました。

ぜんらじみち 安原

安原の今

総人口 4,669人 【男 2,259人 (前月比±0人) 女 2,410人 (前月比-3人)】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

地域にふれあいの楽章



松本美須ヶヶ丘高校の発表

あさば野実りの音楽フェスタが11月17日に旭町小学校体育館で開催されました。これは地区内の学校が一堂に会しての初めての音楽祭です。演奏者、参加者合わせて約600人が集まり、音楽の一日を楽しみました。

主催した安原地区まちづくり協議会の保科守宏会長が「心を通わせ、絆を深める実りある音楽祭に」と挨拶して

旭町小ブラスバンドによる力強い演奏、2年1組のかわいい振付の歌とリズム合奏、4年1組の優しいハーモニー、旭町中吹奏楽部の勇壮な曲など次々と発表されました。

休憩をはさんで地元ゆかりの才能教育研究会によるバイオリン演奏が始まると、場内は張りつめた雰囲気になります。松本美須ヶヶ丘高校吹奏楽部の「ドラえもん」では、観客席の子どもたちから自然と手拍子が起りました。

ファイナーレの信州大学吹奏

初の「あさば野実りの音楽フェスタ」



迫力満点の演奏を披露した信州大学吹奏楽団

留学生と文化交流

安原地区人権啓発推進協が主催

留学生との交流会が12月8日安原地区公民館で行われました。太白町公民館の行事であった信州大学の留学生との文化交流会を安原地区人権啓発推進協が主催する形で実施し、約40人が参加しました。

講師はモンゴルからの留学生、農学部のボルトバートルオリギル(24)さんと、イラク出身でオーストラリアからの留学生、人文学部のユーシフハラユーシフシヤリーフ(24)さんです。

オリギルさんは「将来はモンゴルで栽培できる果物や野菜を研究してモンゴルの平均寿命を延ばしたい」と夢を語



落ち着いた雰囲気、清潔感のある店内

信大病院の中で一番広い食事処を紹介します。場所は外来診療棟の5階です。入口の手前廊下に当日



留学生の話に耳を傾ける人たち

りました。ユーシフハラさんは、母国での戦争体験や移住したサウジアラビア、オーストラリアでの生活について話しました。

留学生の思いに触れた参加者は、日本について考える機会となったと話していました。

安原地区公民館 信大キャンパス 探検隊⑨

レストランソレイユは今年で10周年

の目玉のメニューがズラッと並び、お店に入るとロボットのPepperが出迎えます。座席は164席あり、団体客も平気です。趣味の良い選曲のBGM、12月からFree Wi-Fiが完備され、環境も良好です。

西側はガラス張りになっており、視界近くに城山、その先に常念がくっきりと見える様子は非常に美しいです。高

い目線のおかげでいつもと違う景色が味わえます。

選べるメニューは和洋食喫茶に加え、寿司と蕎麦の二店舗が質と変化をもたらした幅広い方々の要求に応じます。

ソレイユはフランス語の太陽の意。開店時、お世話になった当時の病院長だった小池健一先生が命名者です。



ラショウモンカズラ

和名同様恐ろしいイメージを伴いますが、花は美しく、丈夫で育てやすい植物です。

英名はドラゴン・ヘッド。和名同様恐ろしいイメージを伴いますが、花は美しく、丈夫で育てやすい植物です。



和気あいあいと下ごしらえをする参加者たち

初冬の楽しみ キムチづくり

恒例のキムチづくり講座が12月10日に安原地区公民館で行われました。元安原地区公民館長の柳澤良子さんが在職中に地区内の韓国料理店から指導を受けたのをきっかけに始まって10年以上続いています。この日は15人が参加しま

した。

まずキムチの合わせ調味料であるヤンニョムを作ります。上新粉で作った糊に、ペースト状にした香味野菜、唐辛子、塩辛、皆で刻んだ大根や人参といった野菜を材料順に入れて混ぜます。これを柳澤さんが下漬けしておいた白菜にはさんで密閉容器に詰めていきます。3日後くらいが食べごろで、酸味がきたら豚キムチにしてもおいしいそうです。

見よう見まねで白菜にヤンニョムをなじませる人、すっかり慣れた手つきで仕込む人など、1人でやるとしたら手間のかかる作業を、和やかな雰囲気の中で進めています。

また来年が楽しみです、と声をかけ合っていました。

いちよう並木

「羅生門葛(ラショウモンカズラ) 名前の由来について」

シソ科ラショウモン属の多年草植物。山林の林下に自生、太い筒状の唇形花を横向きにだんだんと咲かせます。

京都の羅生門で渡辺綱(わたなべのつな)が切り落としたり鬼女の腕を思わせるところからついた名です。

肥沃な半日陰の地を好み、地面にはった茎から根を出して殖えます。

花のつく茎は高く伸び、葉は双生、先が尖った卵形で縁に粗い毛があります。花は上部の苞の脇につきま。花冠は紫の美しい色で、筒状で唇形状。下唇の中央部は大きく、内面に濃い紫色の斑点と白毛が特徴。

英名はドラゴン・ヘッド。和名同様恐ろしいイメージを伴いますが、花は美しく、丈夫で育てやすい植物です。